

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

2024年(令和6年)

日刊建設工業新聞

4月22日(月)
第20842号

記事 電話03-3433-7161 mail-ed@decn.co.jp 購読 電話03-3433-7152 mail-sa@decn.co.jp 広告 電話03-3433-7154 eigyo@decn.co.jp

発行所 日刊建設工業新聞社 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 <https://www.decn.co.jp/> ©日刊建設工業新聞社 2024

建設業で本当にあった心温まる物語

降旗達生(ハタコンサルタント代表取締役) 選



先輩から
「安全管理業

私は高校卒業後、ずっと建設業界で仕事をしています。この業界ではたくさんの方の資格を必要とする作業があるため、私も資格を取得してきました。

私の子供が小学校6年生のころに、「大人になったら僕も資格をいっぱいとって父ちゃんみたいな仕事をしたい」と言っていたと妻から聞きました。子供は働く姿を見せたいなくとも、私の姿を想像してくれていました。子供にとっては何げない一言だったかもしれませんが、私にとってはすごく心に残ったうれしい一言でした。

現在は安全管理業務に従事しており、従来携わっていた施工管理業務の経験を生かし現場の苦勞を理解しつつ、安全指導を実施しております。

安全管理業務は煙たがられる存在になれ

務は人に嫌われることも多いが、嫌われるのではなく煙たがられる存在になれ」と教えられました。とはいっても、やはり嫌われているのでは、と思うことが多々ありました。

そんなある日、職人さんから「あなたが現場で指導事項がない時は、自分たちには不安全行動・不安全状態がない作業環境であると自信を持って言える」と言われました。嫌われるのではなく煙たがられるとはこのようなことなのか、と胸につかえていたものがとれた瞬間でした。

現場で、指導事項を言わずに見逃し、事故や災害に発展させてしまつと会社の存続にも大きく影響します。今後も、言いにくいことでも相手に誠意を持ち、理解していただける言葉を使って、コミュニケーションを密にして業務に励む決意です。

ハマダ 赤堀 修(兵庫県)